

朝の館内放送

令和4年5月9日

おはようございます、市長の中村健です。

3月19日、名鉄西尾駅東側のペDESTリアンデッキが「おいでっき」としてオープンしました。

元々は、ワクワク西尾創生コンテストにおいて、有効活用できていないスペースがあるという問題意識のもとで提案された事業です。

行政が、いわゆるハコモノや公共スペースを整備する際、スタートであるはずのオープン自体がゴールとなってしまう、いかにして利用者を増やしていくかという視点が疎かになってしまうことが珍しくありません。

しかし、おいでっきについては、設置してあるグランドピアノを一つの核として、担当課がアナログとデジタルの双方で利用者とコミュニケーションを取りながら、利用者の増加、賑わい創出のために知恵を絞っており、大いに期待しているところです。

またこの度、おいでっきも含めた、西尾駅周辺のいわゆる中心市街地一帯の活性化を図るべく、「まちなかにぎわいパートナー制度」を創設しました。

これは、簡単に言えば、公共空間を活用した中心市街地の活性化に協力していただける民間のパートナーを募集するというものです。

この制度は、まちづくりに取り組む民間団体や市民の方々と対話をする中で、ニーズをくみ取り、生まれてきたものです。

共創のまちづくりは、市政運営における大切な価値観の一つですが、これを実現していくためには民間の方々との深い対話が欠かせず、汗をかくことをいとわない担当課の姿勢と頑張りを非常に誇らしく思います。

こうした一つひとつの取り組みが市民の方々から少しずつ評価され、「最近、西尾市は活気が出てきたね」というご意見もちょうだいするようになりました。

民間事業者の知恵やノウハウを積極的に活かし、前例のないことにも果敢に挑戦しながら、多くの市民にワクワクしていただける西尾市を創っていきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。